

旭丘高校の教育を守る会ニュース

ウィズコロナの時代

次の10年

～中長期計画の策定と世代的継承～

現段階の7つの課題

- ①青年期発達教育の構築②情報教育と国際連携教育の促進
③進路・進学教育の推進④校務分掌の改革⑤学園財政の確立
・中長期計画の策定⑥SDGs運動・私学助成・無償教育運動の促進⑦全学共同の深化

注意

～5.8以降の学校感染予防策～

- うがい・手洗いをする。 ○睡眠・栄養を充分に取る。
○部屋の換気を心がける。 ○健康管理をしっかりする。
○マスクを携帯する。
※人が密集する場面など状況に応じて着用できるように(特に遠距離通学が多い本校では登下校時の着用を奨励)
※学内、感染問題集中一堀内副校長。(『保健だより』より)

生徒募集と学校づくり～8/26(土)①第2回サマーセミナー(午前9時開始)②第28次(通算62次)全学教育研究集会第1部(午後2時開始)～

①第2回サマーセミナー(午前9時～第1校地・第2校地同時開催)

※8/15段階で中学生145名(目標200名)・保護者165名が参加を申込んでいます。⇒2回合わせての目標・中学生400名達成(現段階282名)に向けて参加者づくりが進んでいます。

②第28次(通算62次)旭丘全学教育研究集会・第1部(ホームルーム活動実践報告)午後2時～5時

※昨日と本日、全学教研実行委員会事務局(学校長・学校指導部会議と職員組合二役)会議を稟議で持ち、あらためて教研の内容・組み立て等について意思確認しました。

全学教研第1部の日程・内容と組み立て

- ◎8月26日(土)午後2時～5時30分
◎3つの学年の分散会形式とし、学年ごとのテーマ(1年「交わりと自治」・2年「平和と人権」・3年「進路と生き方」)と結んだホームルームづくり・学年生徒集団づくりに係わるレポート報告・討議を行う。
◎分散会后、まとめの全体会を行う。
◎9教科実践報告は11月の運動教研と1月の総括教研に分けて行う方針です。

今次全学教研の基本課題

①公費助成・無償教育・SDGs運動②生徒募集全学共同③各学年と全学の課題～「進路・進学課題」(まなびコーチングと結ぶ)～と結ぶ。同時に④校務分掌の改革と結び全学共同の学校づくりを促進する土台を得る。

8/13(日) 公私合同説明会(国際医療福祉大学)

～旭丘高校のブースに70件の相談あり～

8月13日(日)に国際医療福祉大学で「公私合同説明会」が開催されました。任務に当たったのは、岡部・堀内(両副校長)、杉山・菅原・神山・石井(各生徒募集委員)と古和田・小林・寺脇・佐々木の各先生方です。

この日は、10時の相談開始から15:15まで旭丘高校のブースにひっきりなしに相談者が訪れ、合計で70件の相談を受けました。相談では、各担当者が中学生・保護者の学と高校生活、進路にかかわる要求を聞き取り、旭丘高校の学科・クラスのカリキュラムと結んで対話を行い、8月26日の体験入学への参加を呼びかけました。

世界大会・全国大会での生徒の活躍

ヒップホップダンス世界大会

新和佳奈(2UC)の所属するKANA-BOON!が世界大会

3連覇を達成。

2UC新和佳奈さんの所属する「KANA-BOON!」(HANAエンタープライズのダンスチーム)が7月29日にアメリカのアリゾナ州で開催された「ワールドヒップホップダンスチャンピオンシップ」で70チーム中1位となり、3連覇を成し遂げました。

第72回全国高校相撲十和田湖大会

デルゲルバト(3UB)が個人戦(無差別級)で相撲部初の全国優勝。団体戦はベスト16。

8/15(火)に青森県十和田市で開催された第72回全国高校相撲十和田湖大会に出場した旭丘高校相撲部は、個人戦でデルゲルバト(3UB)が相撲部初の全国優勝を成し遂げました。また、根上航平(1UB)が1年生ながら全国32位となりました。

団体戦では、決勝トーナメント1回戦で養島高校(本大会3位)に2-1で破れベスト16となりました。

北海道インターハイ・相撲個人戦

バトボルド(1UB)が100kg未満級で5位に入賞、デルゲルバト(3UB)が無差別級で16位

8/4(金)～6(日)に北海道北斗市で開催された第101回全国高等学校相撲選手権大会・個人戦に出場した相撲部の4人の選手は、理事長・学校長と生徒会代表(奥津生徒会長・根元総務・水谷主任顧問)と倉田さん(法人事務局)の応援を受けて健闘し、以下のような戦績をあげました。

- ◎デルゲルバト(3UB)は、無差別級予選を3勝0敗で通過し決勝トーナメントに進出。決勝トーナメント2回戦で高岡向陵(富山)の選手に敗れ全国16位となりました。
◎高原梨斗(2UD)は無差別級予選で1勝2敗となり予選通過はなりません。
◎松崎圭吾(2UC)は個人体重別戦(80kg未満級)1回戦で敗退となりました。
◎バトボルド(1UB)は個人体重別戦(100kg未満級)に出場して準々決勝まで勝ち進み全国5位となりました。

☆100kg未満級で5位となったバトボルドは、大会2日目の土俵上での表彰を受けました。(5年前の沼津インターハイで土俵表彰を受けたチョイジルスレン以来の快挙です)。

※裏面に北海道インターハイ自転車競技と「進路・進学」に係る取り組み、8月後半の学校づくりに係る諸取り組みの日程について掲載します。

北海道インターハイ・自転車競技

中西椋策(2-2)健闘するも熱中症のためリタイア

8/6(日)に北海道北斗函館市で行われたインターハイ自転車競技に出場した中西椋策選手(2-2)は、理事長・学校長と生徒会代表(奥津生徒会長・根元総務・水谷主任顧問)と倉田さん(法人事務局)の応援を受けて健闘しました。

中西選手は1周回で約60位となり、その後着実に順位を上げて5周回では約24位でトップとの差が4.2秒のところまで位置を上げました。(この間、半数以上の選手がリタイア)中西選手は6周回までさらに順位を上げて行きましたが、途中で熱中症のためやむなく途中リタイアとなりました。

夏季の「進路・進学」に係る取り組みから

夏季進学特別講座

1年生と3年生が積極的に参加し未学習の内容にも積極的に挑戦しました。受験を想定した90分の授業時間にも集中出来る学習が進みました。学習内容はYouTubeでも配信され、いつでも復習ができる態勢が組まれています。理科講座では、物理基礎と化学基礎が取り組まれ、また総合型選抜講座も開講されました。夏休み後半には国語と英語の集中講座が開講されます。

まなびコーチング(学習室とオンライン面談)

学習室の参加者数は始めは少人数でしたが、会を重ねる中で増えてきました。オンライン面談では学年によって差はありましたが、半数近くの生徒が参加しました。その結果、学習室への参加も徐々に増加傾向にあります。夏休み中はオンラインでの質問が中心に行なわれ、わからないことに対してはしっかりとチューターがフォローし、生徒たちの満足度も高い評価が出ています。

(編集部に寄せられた進路指導部主任の報告より)

8月後半の諸取り組み

◎ 8/18(金) 公私立中高協会「理事長・校長研修会」

※水野理事長・土岐事務長参加(横浜崎陽軒)

◎ 8/21(月) 全校生徒登校日～生徒会・平和の集い～

学校長－生徒会総務懇談～

◎ 8/23(水) 神奈川総合学科研究会・キャリア部会研修会

※旭丘高校の課題研究に係る在校生・卒業生の報告

◎ 8/24(木) 生徒会・夏季リーダー学習会

9/1(金)13:30～ 学園理事会

※秋の全学の取り組み～次の10年、中長期計画の策定づくり～私学助成・生徒募集・校務分掌改革・現段階の学校づくりの課題と任務に係る課題)について

※夏休み「経年劣化」工事、第1校地・第2校地とも計画通り進む。台風被害なし。